

ガイアックス

学生時代の経験が支えに

04年教養学部卒 ウェブサイトの内容提案

企画



山口 由起子さん
(事業戦略部)

- 9 : 00 出社、メールチェック、資料整理
- 11 : 00 ミーティング
- 12 : 00 昼食、資料作成
- 14 : 00 ミーティング
- 18 : 00 社内での打ち合わせなど
- 23 : 00 退社

ガイアックスでは、「人と人をつなげる」というビジョンの下、様々なビジネスに取り組む。中でも中心となるのは、インターネットの使用者に向けた新規ビジネスや、ネットビジネスのコンサルティンク、ジョイントベンチャーといった事業の立ち上げだ。事業戦略部に所属する山口由起子さんは現在、新規インターネットビジネスとして「コミュニティサイト」を企画する企業のコンサルティンクに携わっている。コミュニティサイトの例としては、ユーザー同士が意思疎通を図れる仕組みのあるサイトが分かりやすい。会社として掲げるビジョンは「人と人をつなげる」というもの。いかに使用

者がアクティブなコミュニケーションを行い、つながっていくか、そのコミュニケーションをどう設計し構築するかについて、取引先の新規事業担当者や、韓国子会社のメンバーとともに議論を繰り返しながら企画作りをしている。学生時代は、金融の勉強会を企画・運営する学生団体に属していた。まず任されたのは広報の仕事。多くの人に勉強会の存在を認知してもらうため、様々なメディアに取材を依頼して回った。翌年には代表になり、20人のスタッフをまとめながら勉強会を成功に導いた。これらの活動で成功を取れたときの達成感が、困難にも立ち向かえる精神的支柱になっている。

就活の時期には、10教社を

見て回った。「企業訪問を通して、『自分の力で変えていけそう』な小さい企業の方が、やりがいを持って仕事ができるのではないか」と感じ始めました。そこで、比較的小規模である上、新人でも「大きな仕事」ができるガイアックスへの就職を決めた。

また入社1年目。企画を行うチーム内で、責任の重い仕事を次々と任せられ、苦勞が絶えない。「また経験が浅く、失敗もあります。ですが逆に、考えるべきことがたくさんあるという厳しさが、面白さにもつながっています」

ビジネスとは「自分の働きかけによって他人にいい影響を与え、その対価をもらう」と話す。将来的には独立も考えていて、「これからの仕事を通して、多くの人に役立つサービスを提供できる道を見つけていきたい」と強い意気込みを見せた。

人事担当者の声

前例・経験の壁を越える

ガイアックスでは、変化が激しい市場の中で、日々誰もやったことのない事業を多くのステークホルダーを巻き込みながら推進していきます。新規事業の立ち上げが主要業務ですので、論理的な思考力を重要な要素と位置づけています。求める人材は、自ら問題意識やビジョンを描き、自ら仕事をづくり、周りを動機付け、自分のやりたいことを進めていくことができる方です。前例も

経験もないことを、自らリスクをとってチャレンジする、そのような方はいビジネスの中で、経験を積み、専門性を高め、自分自身の市場価値を高めていくことに価値を感じる方に対しては、今のガイアックスは最適な職場と機会を提供できると信じています。

リスクがあってもチャレンジできる「高い志」と「優秀な頭脳」を持った人がガイアックスの門を叩いてくれることを期待しています。(人事部 松井雄史)